

整理番号	HT27295	分野	歴史	キーワード:考古学・食生活・実験
------	---------	----	----	------------------

鹿児島国際大学

「食」の世界へのいざないーミクロな世界からみた食資源利用の歴史ー

先生(代表者)	大西智和(おおにしともかず) 国際文化学部・教授				
自己紹介	専門は考古学です。とくに、今から千数百年前の古墳時代の研究を行ってきました。食べるのが大好きなため、現在、古墳時代の人々は何を食べていたのだろうか？ という研究にのめりこんでいます。				
開催日時・主な募集対象	平成27年 9月 6日(日)	(対象)	中学生	(人数)	30名
集合場所・時間	鹿児島国際大学 8号館		(集合時間)	9:30	
開催会場(集合場所)	鹿児島国際大学 住所:〒891-0197 鹿児島県鹿児島市坂之上 8-34-1 アクセスマップ: http://www.iuk.ac.jp/gaiyou/access/index.html				
内 容					
<p>大昔の人々はどんなものを食べていたのでしょうか。お米？それともドングリ？ 大昔の人々の食生活の復元は、食べ物そのものが発見されることが少ないため、簡単ではないのです。でもお手上げではありません。本プログラムでは、遺跡から得られる様々な細かな痕跡を調べることによって、大昔（とくに今から千数百年前の古墳時代）の人々の食生活の復元を行うことを目的としています。</p> <p>本プログラムは講義と実験から構成されます。実験では昔ながらの方法で調理も行います。炊いたご飯を食べながら、太古の食に思いを馳せましょう。</p>					
スケジュール				持 ち 物	
9:30~9:50 受付(8号館) 9:50~10:10 開講式(あいさつ、オリエンテーション、科研費の説明) 10:10~10:50 講義1「食の世界へのいざない」(講師:大西智和) 10:50~11:00 休憩 11:00~11:40 講義2「土器の痕跡から調理技術をさぐる」(講師:鐘ヶ江賢二) 11:40~12:10 キャンパスツアー 12:10~13:10 昼食・休憩 13:10~14:30 実験1「土器や土の中からみつけよう」 14:30~14:40 休憩 14:40~16:00 実験2「土器を使った炊飯調理」 16:00~16:30 クッキータイム・ディスカッション(炊いたお米を食べながら) 16:30~17:00 修了式(アンケート記入、未来博士号授与) 17:00 終了・解散				筆記用具 活動しやすい服装	
				特 記 事 項	
				<ul style="list-style-type: none"> ・屋外での活動も含まれます(実験2)。日差しを遮ることができる服装でお越しく下さい。 ・昼食は当方で用意いたしません。(保護者・先生方で昼食を希望される方は、事前申込(実費)にて用意いたします。) 	

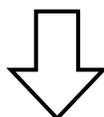


《お問い合わせ・お申し込み先》

所属・氏名：	研究教育開発センター・吉野 裕
住所：	鹿児島市坂之上 8-34-1
TEL 番号：	099-263-0607
FAX 番号：	099-263-0640
E-mail：	kaihatsu@ofc.iuk.ac.jp
申込締切日：	平成27年8月24日(月)

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
大西 智和	H25-27	基盤研究(C)	25370898	古墳時代南九州の離島と本土との食資源利用の比較研究



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。